



会長
衛生技術科 12期生
本上 浩伸

今年は短大創設50周年の年で、同窓会活動もまもなく50周年を迎えます。50年と言えば小学生だった子供がまもなく定年退職を迎えると言うそんな年月です。

その間、国内では交通戦争、受験戦争とか呼ばれる戦争があり、幾度かの自然災害に襲われながら今に至っています。そして、国内外も大きく様変わりし、人々の考え方も大きく変化しており、個人個人が求めるものが多様化し、一つの団体として向かう方向性が一つでは対応できなくなってきました。

そんな中、本会では学園創立110周年の本学と協力して記念行事を考えています。会員の皆様もこれらの行事にご参加いただき、一つの節目を迎えた後の本会のあり方を一緒に考えていただけないか。



神戸常盤大学理事長
旭 次郎

先日、入学式を終えるとすぐ次の日に妻とともに「フキノトウ」を採りに蒜山に行きました。これをつまみにあれこれ考えながら一人で白ワインを飲むのが春の楽しみの一つです。

来年度は学園創立110周年を迎えます。私は目下110周年からの10年をどう展開させるのかに思いをめぐらせています。変化の激しい時代の10年の見通しを立てることは大変難しいことではあります。建学の精神を失わず発展の道筋を模索しています。



神戸常盤大学学長
濱田 道夫

卒業生の皆様、はじめまして。この4月から学長を務めることになりました濱田と申します。赴任したばかりで、一日も早く仕事に慣れようと奮闘中です。

いきなり同窓会誌にデビューすることになりましたので、じつはこの一文を投稿するにあたり、『ときわびと』のバックナンバーをいくつか参照させていただきました。とくに数年前から始まっている「ときわびとのつぶやき」には、卒業生の職場での活躍、母校への思い、日々の感想、旅行、飲み会など、さまざまな生活の場面が紹介されていて、興味深く読ませてもらいました。2期生、3期生、4期生から最近の卒業生まで幾世代もの方々が登場し、躍動感あふれる同窓会誌を目にした思いです。すでに1万人を超えると聞いていますが、ときわびとの熱いネットワークがさらに広がっていくことを願っています。

ところで、すでにご存知かと思いますが、近年、社会が大きく変化していくなか、大学はますます社会の要請に応えていくことが求められています。グローバル化への対応、地域課題への取り組み、教育改革等々ですが、神戸常盤大学はこれまでこうした課題に着実に取り組んできました。学生はしっかりと足取りで社会に出ていくものと確信しています。なかでも教育改革に関していうと、専門職業人の育成を目的とする本学にあっては、学生が各分野の専門知識はもちろんのこと、幅広い視野と豊かな感性を身につけることが肝要となります。とりわけ看護や医療、教育の現場でのいのちをあずかる専門職業人となるわけですから、よく使われる社会人基礎力とか汎用能力、あるいは人間力という言葉では言い尽くすことができないかもしれません。

話が少し硬くなりましたが、何はともあれ現場での実践経験の豊富な皆様のご支援、ご協力をいただきながら、現役生をしっかり育てていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。



キャンパスレポート

2016年春、2号館が新しく生まれ変わりました！

2018年に創立百十周年を迎える玉田学園。そこに新たな礎が出来上がりました。

昭和42年の短期大学開学以来、長年お世話になってきた旧2号館に別れを告げ、“仮暮らし”を続けながら今か今かと待ち望んでいた新2号館が2016年春、ついに完成(竣工)しました。正門に正対し、凛とした地上4階建ての佇まい、入口の扉を開けた瞬間、開放感に満ち溢れたプロムナードが目飛び込んできます。床は全階アースカラーのタイルで統一され、4階まで吹き抜けている空間は、心地よい開放感と清潔感を与えてくれ、その視線の先には本学を象徴する木々(緑)が望める空間はまさしく“森の中のモダンな学び舎”。1階には学生が自由に学ぶことのできるカルティベ、アクティブラーニング対応の講義室、疲れを癒してくれるリフレッシュコーナー、2・3階には最新機器を揃えた5つの実習室、4階には大講義室など、

より一層教育環境が整備されました。このような、自然と建物が融合した環境で学ぶことのできる学生は、これまでも、そしてこれからも、きっと素晴らしい知識と技能を備えた専門職業人(とさわびと)として育ってくれるものと期待しています。

【2号館概要】

- 1階 カルティベ、中講義室
リフレッシュコーナーなど
- 2階 生理機能検査学実習室1・2・3
分析系実習室など
- 3階 形態系実習室、研究室など
- 4階 大講義室など



第11回日本臨床検査学教育学会学術大会を終えて

神戸常盤大学が主管校となり、平成28年8月31日(水)から9月2日(金)にわたり、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会を開催致しました。本学術大会は臨床検査技師養成に関わる教員および学生・大学院生が参加し、研修及び研究発表を行う年一回の機会です。日本で28年ぶりに神戸市で開催された世界医学検査学会(IFBLS 2016)と同時期開催とし、「臨床検査技師の国際化」をテーマに531名の参加者、74名の本学教員と学生が運営にあたりました。

シンポジウムの「学生時代から行う国際交流の意義」では同窓会が主となって始まったネパールとの交流を今では授業に取り入れ、その意義と効果を柳田准教授が発表されました。IFBLS 2016との合同シンポジウムでは坂本学科長が「英語で」座長を務め、招待講演としてHarvard Medical Schoolか

ら八木由香子先生をお招きした際には、同窓会会員でもある布引准教授が約千人を前に司会を務めました。

本校からも多くの教員や学生が発表を行いました。なにより嬉しかったのは医療検査学科3年生の須磨君が学生優秀発表賞を頂くなど、学生達がこの学会で活躍してくれたことでした。訪問された他校の方々からも「礼儀正しい」「些細なことにも気がついてくれる」等と言って頂け、学生達を誇らしく思えました。

無事に学術大会を終了できたのは、医療検査学科全教員の献身的な協力と学生達のおもてなし、法人を始めとする本学職員のご理解およびご支援のお蔭と感謝しております。頑張ってくれた学生達もやがては同窓会の一員になります。どうぞよろしくお願いします。



満員のメイン会場で質疑応答に応えられる柳田准教授



後片付け終了後、最後まで残ってくれた学生達と新2号館入り口にて

ネパール派遣研修(2016年度)に行ってきました!

医療検査学科 教員 柳田 潤一郎

皆さん、お元気ですか?

こちら、またまたネパールに行ってきました。今回は、学生の皆さん、同窓会の岡部さん、そして先生方あわせて13名で、第11回目のネパール派遣研修団です。(2016年12月21日~29日)

20年前、このネパール派遣研修制度がスタートしました。1997年10月12日、神戸常盤短期大学同窓会とネパール政府公認NGOであるハチガンダ福祉協会(Hattigaunda Welfare Society: HWS)との間で姉妹提携が結ばれ、隔年ごとに本学の学生・卒業生とネパールの学生・社会人が相互訪問し研修を行う交流プログラムがスタートしました。姉妹提携の覚書は、当時本学同窓会の会長でありこのプログラムを実現された小野一男会長とHWS会長のシバ・クマール・ライ先生との間で取り交わされました。実施担当は同窓会から本学TEC国際交流部、そして現在、国際交流センターと変わりましたが、この20年の間に10回ずつの研修が行われ、現在に至っています。

今回も学生の皆さん方は、現地の家庭でホームステイをしながら、現地の医療系学生たちとの交流、病院訪問、そしてヒマラヤの峰々を仰ぎ、驚きと感動の経験をしてきました。また、同窓会を代表して行っていた岡部さんには、HWSとShi-Gan International College of Science & Technologyの卒業式・新入生歓迎会に合わせて行われたこの交流20周年の記念式で祝辞を述べていただきました。学生の皆さんは、改めてこの交流の歴史に驚かされたようです。

さて、記憶に新しいことですが、2015年4月にネパール大震災が起り、すぐに本学学生が新長田周辺で義援金を募り、また同窓会の皆さん方からいただいた「あたたかいkimochi」を現地NGOに寄付してきました。(2016年コンソーシアムでの訪問時)ほぼ2年たった今、カトマンズ市内では、まだ壊れた民家がそのまま残っていたりしていますが、あちこちで大きなビルとして建てなおされたり、道路が広くなったり、復興・整備がなされていました。ただ、ネパール医科大学に行く途中には、家を失った家族のためであろうテント村が何カ所もありまだまだ不自由な生活を強いられている人々が多いようです。



また、観光名所であるダルバール広場のいくつかのヒンドゥー寺院は跡形もなく、土台だけが残されています。かろうじて残っている寺院や白壁の美しい旧王宮の建物は何本ものつかえ棒で固定され打ち捨てられているような感じを受けました。何とか早く修理が行われ、元のような賑やかな空間になってほしいと思っています。



左：震災前 右：震災後

ネパール研修

M科21期 岡部 文雄

今回のネパール研修では、シガン科学技術大学(Shi-Gan International College of Science & Technology)の学生達との交流会、ネパール医科大学・ネパール医科大学付属病院の見学、Shi-Gan International College 新入生歓迎会・卒業生歓送会・およびハチガンダ福祉協会と神戸常盤大学交流20周年合同記念式典、老人保健施設等建設予定地の見学と多くの貴重な経験をさせて頂きました。

シガン科学技術大学の学生達との交流会では、研修生達は熱弁をふるい、教室には立ち見が出るほどの学生が真剣に研修生達の発表に耳を傾けていました。

ネパール医科大学とネパール医科大学付属病院への見学では、大学は日本に比べて満足できる教育環境とはいえ、病院でも施設や医療機器共に満足の行くものではありませんでした。

老人保健施設等建設予定地の見学の時は、ネパール近郊



真剣に発表を聞く学生



ネパール山岳に住む人々



カトマンズ市内の町並み(電気街)



帰国時の先生・学生達

の山岳地帯の大自然の中で、自然と隣り合って生活をしている人々を間近に見ることができました。

色々な場所で出会ったネパールの人達に共通して言えることは、決して満足の環境ではない中で、家族を大切に、何事にも明るく力強く、熱意を持って勉強や生活していた事だと思っています。

今回の研修で、神戸常盤大学とハチガンダ福祉協会は姉妹提携20周年を迎えました。合同式典に参加して、この20年間という長い期間、学生・同窓会生が交流を続けることができたのは、シバ・クマール・ライ先生の熱意と小野先生や柳田先生、関係者の方々、同窓会役員、学生達のすべての人々のおかげだという事が分かりました。

百聞は一見にしかずです。研修に参加して頂き、私が感じたこのネパールの熱意を是非感じてほしいと思いました。

ときわびとのつぶやき

衛生技術科 12期生 北村 則子

50歳を過ぎ、12期生の私は卒業から約30年経っていました。2人の子供は其々独立し、仕事に追われる日々で趣味と言うものが無かったことに愕然としました。そこで、楽しみを見つけようと思い50の手習いでウクレレを習い始めました。練習はさぼりがちで上達はしないのですが、なんとなく曲に聞こえると嬉しくなります。暖かい音色に癒されます。練習しないと上手くなりませんが、ゆっくりゆったり続けていきたいと思っています。

幼児教育科 12期生 高橋 智子(旧姓:山田)

子どもは社会人になり、義母の介護を終え、今はボランティアやサークル活動、短大時代の友人と女子会をして自由を謳歌しています。話題は健康に関することが増えて来ました。歳を重ねる毎に友人の大切さを実感しています。

幼児教育科 12期生 藤井 万記子(旧姓:堀内)

私が、今はまっている事にバス旅行があります。パンフレットで見つけた近場の日帰りで行けるところばかりですが、美味しい物を食べたり、季節の花を見たり...

振り返るとあまり出掛けていなかった事に気が付きました。最近、主人と二人でいろんな所へ出掛けて、同じ時間を過ごし、同じ景色を見る事を大切にしたいなと思っています。



幼児教育科 11期生 松岡 弥生(旧姓:三木)



怜さん 4歳 私の初孫ちゃんです。ほぼ、毎週末にやって来てお泊まりするのを楽しみにしています。最近「鉄棒で前回り出来るようになったよ」「雲梯で一番向こうまで行けるよ」と幼稚園で遊んでいる様子や出来るようになった事を報告してくれます。

私の趣味の折り紙にも興味津々で「一緒にしたい」と、本とにらめっこしながら一緒に楽しんでいます。

医療検査学科 5期生 中川 香里

私が大学を卒業し、検査技師として働き始めて早くも10ヵ月が過ぎました。今、日々の業務を頑張ることが出来ているのは常盤で学んだ基礎があり、同じ病院の常盤OGの先輩方に支えられてきたお陰だと感謝しています。

神戸で4年間過ごした後、地元長浜に戻ってきて都会で便利な神戸が恋しくなる時もありますが、長浜は自然豊かで歴史もあり、何よりも美味しいお酒があるので皆様も近くにいらした際には是非立ち寄ってみてください。

衛生技術科 27期生 山下 るり代

この冬に勤務先より勤続20年の永年表彰を受けました。

卒業後は病院で働きたいという思いがラッキーにも叶いました。仕事は覚えることが多く大変でしたが、新しいことへのチャレンジ、そして達成する満足感があり苦になりません。慣れてくると研修会に参加してみたりと忙しくも充実していきました。輸血の認定試験に受かったのもこの頃です。

5年前。子供を出産し、こんな私の生活スタイルがうまく回らなくなり、このまま続けていけるかとても不安になりました。しかし、まわりの先輩技師や家族の助けもあり、こうして無事20年を迎えることができました。

衛生技術科 10期生 西山 令子(旧姓:木村)

私は就職時当初より超音波検査に携わってきました。当初、当院には超音波室はまだ存在せず、心臓・腹部の超音波検査の機器が各1台あるだけの状況でした。当時、超音波検査に携わる先輩技師はおらず、新人の私は医師の操作を見聞きして覚えるという毎日でした。

その後、超音波室が創設され検査件数も増加し、この検査の将来性に希望を見出すことができました。

医学界でも次第に超音波検査の重要性が認知され、超音波検査士の認定試験も始まりました。私は、第1回目の試験に合格したのち4領域まで合格。その後、子育ても一段落した40歳の時に5領域めの試験を、また52歳で7教科全部の検査士の資格を得ることができました。自信があると思ったり、自信を無くしたりの繰り返し。

担当医師と私一人で始まった超音波検査でしたが、後進に道をゆずる年代になりました。今後は、自分の知識を可能な限り後輩に伝え、多少なりとも貢献できればと思っています。

20年ほど前から本業の傍らで、実のなる木を育て始めた。畑の活用問題の解消や実を付けやすい作物を探すのが目的である。柿・葡萄・栗・山椒・キウイ・スモモ・イチジク・柑橘類など17品目35種類程をこれまで育ててきたが、この風土に適応しなかったものがあつた反面、育ちやすいものも次第に分かってきた。収穫後は実食やジャム・シロップ・果樹酒にして楽しんでいる。還暦を迎える年になり、本業の継続か、山・田畑を引き継ぐか決断を迫られる年でもある。あれこれ楽しみながらこの1年を過ごしていきたい。



医療検査学科 4期生 中島 和希

僕は2年前に卒業して県立尼崎総合医療センターで働いています。1年目は微生物検査室で、2年目は生化学・一般検査室で働いています。尼崎総合医療センターはいつも忙しく大変ですが周りの人たちに恵まれて頑張っています。

プライベートも充実しており、休日は友達と遊んだりボランティアに行ったりしています。

もちろん勉強もするために研修会に参加して様々なことを学んだり、いろいろな方と知り合いになり刺激をもらっています。

どちらも充実できるようにこれからも頑張っていこうと思います。



同期会のコーナー

10期、11期、12期合同同期会のお知らせ

卒業後40年近くが経過し、各方面でご活躍のことと思います。

さて、下記の要領で合同同期会を開催いたします。同期の中で本誌が届いていない方がおられましたら、お誘いあわせの上ご参加ください。皆様と久々にお会いできることを、世話人一同楽しみにしております。

世話人

10期 P科 角(出口)典子 M科 金 基潤
11期 P科 長岡(吾妻)雅子 M科 金藤(竹内)富子
12期 P科 藤井(堀内)万記子 M科 西田光輝

日 時:平成29年6月24日(土) 13時～
(12時受付開始)

会 場:神戸常盤大学2号館

対 象:神戸常盤短期大学10期、11期、12期生

会 費:4000円

小学5年の時に心電図のお姉さんになりたくて検査技師を目指し、学生時代に初めて手にした超音波プローブに魅せられて28年…あれ以来超音波検査にはまり続け今はクリニックでエコーのバイトの掛け持ちをしています。エコーは楽しくて好き過ぎて私的には天職だと思える仕事です。

学生時代はバブル真っ只中…今話題の平野ノラを地でやってきました。そんな私も今や18歳の息子の母。息子は、SURFINGと語学留学の為にゴールドコーストのハイスクールに通い留学生生活を満喫中です。私もオーストラリアで検査技師として働いてみたい…あ…その前に…英語…ですね。

そして最後になりましたが、私に生理検査、特に超音波検査の魅力を伝えて下さった吉田先生に感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございます。

衛生技術科 10期生 比本 弘子(旧姓:宝子丸)

赤いチャンチャンコが似合う年頃になりました。振り返れば色々ありましたが何事もあり気にしない性格で楽しくすごせたように思います。第二の人生、海外旅行やフラダンスなどやりたいことがあります。孫の子守りが待ってます。体力がいつまで続くかしら?そんな今日この頃です。



国家試験の合格率と就職率の情報

■ 平成28年度 就職状況(H29.3.31現在)

	卒業生	就職希望者	内定者数	内定率(%)
医療検査学科	84	84	※73	86.9
看護学科	87	85	※※84	98.8
こども教育学科	84	80	※※※80	100.0
口腔保健学科	68	68	64	94.1

※進学者3名含む ※※進学者1名含む ※※※進学者1名含む

■ 平成28年度 国家試験合格率

	受験者	合格者	合格率(%)	全国平均(%)
臨床検査技師	84	74	88.1	78.7
看護師	86	81	94.2	88.5
歯科衛生士	68	68	100.0	93.3
看護学科通信制課程	127	83	65.4	

支部だより

東北・関東支部

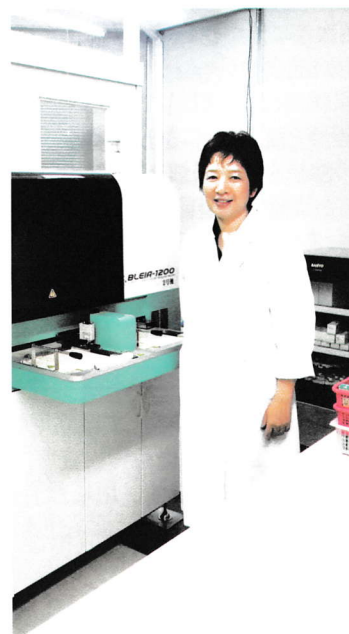
支部長 衛生技術科 12期生 田中 文

今冬は、西日本や北日本日本海側は大雪に見舞われ雪害対応に大変なっていますが、東京では、暖かく過ごしやすい日が続いています。

関東屈指の人気温泉リゾートの箱根では、2015年春から火山活動が活発化し、大涌谷周辺が立ち入り禁止区域になるなど、大打撃を受けていましたが、2016年7月には大涌谷園地の規制も解除され、年末年始には大涌谷、芦ノ湖の海賊船というスタンダードな観光ルートは多くの観光客でにぎわっていました。毎年箱根に行っていますが、ここ最近、新規オープンしたお店や観光スポットがずいぶん増えたなという印象があります。

箱根に限らず東京は2020年の東京オリンピック開催に向けて、新しい施設の建設・改修を含む大規模な都市開発や、道路・鉄道等のインフラ整備の工事があちこちで進められており、気が付けば以前はどんなところだったか思い出せ

ないぐらい急ピッチで街が変化しています。観光地やショッピングモールはインバウンド旅行客にあふれ、駅アナウンスも英語、中国語、韓国語を耳にすることが多くなりました。オリンピック開会式2020年7月24日まであと3年。どんどん変わっていく東京に期待をしています。



中部支部

支部長 衛生技術科 5期生 重屋 志啓盛

衛生技術科5期生で福井県越前市在住の重屋です。神戸常盤を卒業し早くも44年の年月が過ぎようとしています。福井と神戸の距離は鉄道又は車で2～3時間程度なのですが、なかなか訪問することが出来ずにいます。今年こそ支部長としての活動と、同窓会総会に参加しなくてはとこの原稿を書きながら思うのですが、支部長を引き受けたものの出席できずに時が過ぎております。

神戸常盤大学のホームページで歴史・沿革を拝見し私の在学当時と比べ学舎・設備・学部学科の増設・各種センター設置や地域活動など益々教育機関としての重要性が期待されていると思えます。自己を振り返ると常盤に入学させていただき自分の人生の大部分が決まったと言っても過言ではありません。心から感謝しております。同窓生の皆さん機会を作って青春を過ごした神戸常盤へ行きましょう。

「兵庫県立文化体育館」の愛称は「神戸常盤アリーナ」

常盤への通学途中、必ずといっていいほど目につく「兵庫県立文化体育館」。地元では「県スポ」と親しまれているこの建物のネーミングライツスポンサーに神戸常盤大学が決定しました。愛称は「神戸常盤アリーナ」。近くを通った時にはチェックしてみてくださいね。



イメージ図

中国支部

支部長 衛生技術科 2期生 酒井 啓子

「原点回帰～大切な何かを探そう～」というテーマで、昨年2月第33回広島県医学検査学会が尾道国際ホテルで開催されました。このホテルは勤務先のすぐ近くで、様々な行事で利用させていただいている場所です。私は「糖尿病療養指導士としての15年の取り組み」と題して、初めて演題発表しました。

本来この学会は新人の発表の場ですが、私の場合、年は取っているけど、初めてだったので、了承されました。私が発表しようと思った理由は、いつか発表できたらと思っていたこと、検査室長がパネリストで発表、会場が尾道国際ホテル、若い人たちの今後に繋がればと思ったからです。抄録作成や、ネットでの登録方法など初めてのことばかり、解からないことばかりでしたが、検査室のみんなに助けてもらいました。40代の時、もっと自分に合った仕事があるのではと悩んだ時期がありました。51歳で糖尿病療養指導士の資格を取って、患者と関わ

り、みんなに支えられ、今日まで検査技師を続けることができました。臨床検査技師人生の中のこの年で、学会発表の場をもらい、この発表で優秀演題賞を頂いたことに感謝しています。

最近心に残っている言葉「人生にムダなことは何一つない。全部自分に役立つ。そしてやり続けることが大事」



九州支部

支部長 衛生技術科 2期生 末吉 ひろ子

霧島連山には最高峰の韓国岳をはじめ、新燃岳や高千穂峰など、数多くの山が鹿児島と宮崎にまたがってそびえています。

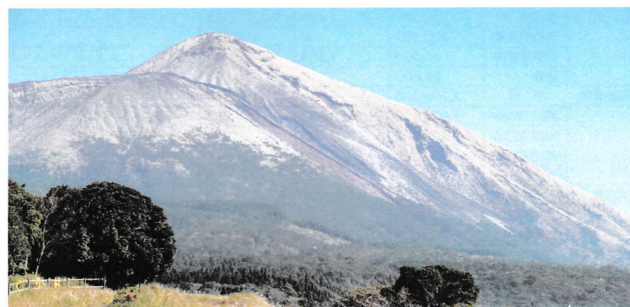
温泉も豊富で、坂本龍馬と妻お龍が新婚旅行で訪れた塩浸温泉をはじめとした数多くの温泉郷があります。新婚旅行の時には、犬飼の滝も眺めたといいます。現在では“龍馬ハネムーンウォーク in 霧島”という二人が歩いた道を現代の龍馬とお龍になって歩き自然や温泉を楽しむ歴史を学ぼうというイベントもあります。

また県内で最も古い木造の駅舎である嘉例川駅は、百数十年の歳月を刻んでいます。無人駅ですが味わいある駅舎で見物に訪れる人が後をたたないようです。

大隅横川駅も同じ頃に作られた木造駅舎です。

それから健康にいいと人気の黒酢も造られています。

自然豊かで歴史もあり温泉も湧き、四季を通じて美しい霧島です。



高千穂峰



龍馬とお龍の像



犬飼の滝



嘉例川駅

平成29年度神戸常盤大学同窓会総会のご案内

平成29年度同窓会総会を右記の要領で開催いたします。
多数のご参加をお待ちしております。
総会終了後、懇親会を用意しております。

日 時:平成29年6月24日(土)午前11時～
会 場:神戸常盤大学2号館

平成28年度 神戸常盤大学 同窓会 収支報告書

1.一般会計

■ 収入の部

平成29年3月31日

	平成28年度予算	平成28年度決算	差引額	備 考
前年度繰越金	5,867,538	5,867,538	0	
会費収入	7,000,000	6,929,450	-70,550	2万円×344名+通学生5名
受取利息	4,000	2,090	-1,910	
雑収入	0	51,000	51,000	互煎販売上金等
収入合計	12,871,538	12,850,078	-21,460	

■ 支出の部

	平成28年度予算	平成28年度決算	差引額	備 考
本部費				
小 計	4,950,000	3,926,611	1,023,389	
会議費	300,000	161,157	138,843	御井当等
総会費	300,000	103,619	196,381	
旅費交通費	500,000	200,460	299,540	交通費
通信運搬費	250,000	47,930	202,070	役員通信経費含む
印刷製本費	100,000	111,672	-11,672	
事務消耗品費	100,000	55,811	44,189	事務用品、トナー代等
交際費	650,000	1,156,520	-506,520	大学2号館完成の寄付
諸謝金	600,000	415,950	184,050	事務局員給与等
地域福祉活動費	200,000	77,996	122,004	オープンキャンパス・大学祭等
情報通信機器費	100,000	51,840	48,160	
名簿整備費	1,300,000	1,263,656	36,344	クラス会助成、ときわびと発行費
福利厚生費	100,000	0	100,000	弔電等
備品修繕費	100,000	0	100,000	
会費返金費	300,000	280,000	20,000	
雑費	20,000	0	20,000	お茶等
予備費	30,000	0	30,000	
支部運営費				
小 計	500,000	2,031	497,969	
会議費	20,000	475	19,525	
旅費交通費	400,000	0	400,000	
通信運搬費	60,000	1,556	58,444	
雑費	20,000	0	20,000	
補助事業				
小 計	2,200,000	1,795,033	404,967	
国際交流事業費	1,000,000	595,033	404,967	神戸常盤大学へ50万
地域交流事業費	500,000	500,000	0	神戸常盤大学へ
修学支援奨学金	500,000	500,000	0	神戸常盤大学へ
大学祭補助金	200,000	200,000	0	
積立費				
小 計	400,000	400,000	0	
記念事業積立	200,000	200,000	0	特別会計へ積立
備品購入積立	200,000	200,000	0	特別会計へ積立
定期預金				
支出合計	8,050,000	6,123,675	1,926,325	
		12,850,078-6,123,675=6,726,403		
		平成29年度繰越金	¥6,726,403	

平成29年度 神戸常盤大学 同窓会 一般会計予算案

1.一般会計

■ 収入の部

平成29年4月1日

	平成28年度予算	平成29年度予算	差引額	備 考
前年度繰越金	5,867,538	6,726,403	858,865	北海道支部17,969円含む
会費収入	7,000,000	7,000,000	0	2万円×通学生+通学生
受取利息	4,000	4,000	0	
雑収入	0	0	0	
収入合計	12,871,538	13,730,403	858,865	

■ 支出の部

	平成28年度予算	平成29年度予算	差引額	備 考
本部費				
小 計	4,950,000	5,000,000	50,000	
会議費	300,000	300,000	0	御井当等
総会費	300,000	300,000	0	
旅費交通費	500,000	500,000	0	交通費
通信運搬費	250,000	250,000	0	役員通信経費含む
印刷製本費	100,000	150,000	50,000	
事務消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品、トナー代等
交際費	650,000	650,000	0	
諸謝金	600,000	600,000	0	事務局員給与等
地域福祉活動費	200,000	200,000	0	オープンキャンパス・大学祭等
情報通信機器費	100,000	100,000	0	
名簿整備費	1,300,000	1,300,000	0	クラス会助成、ときわびと発行
福利厚生費	100,000	100,000	0	弔電等
備品修繕費	100,000	100,000	0	
会費返金費	300,000	300,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	お茶等
予備費	30,000	30,000	0	
支部運営費				
小 計	500,000	500,000	0	
会議費	20,000	20,000	0	
旅費交通費	400,000	400,000	0	
通信運搬費	60,000	60,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	
補助事業				
小 計	2,200,000	1,700,000	(500,000)	
国際交流事業費	1,000,000	500,000	(500,000)	
地域交流事業費	500,000	500,000	0	
修学支援奨学金	500,000	500,000	0	
大学祭補助金	200,000	200,000	0	
積立費				
小 計	400,000	400,000	0	
記念事業積立	200,000	200,000	0	
備品購入積立	200,000	200,000	0	
定期預金				
支出合計	8,050,000	7,600,000	(450,000)	
次年度繰越金	4,821,538	6,130,403	1,308,865	

平成29年度特別会計等の詳細につきましては、総会終了後にホームページをご参照ください。

編集後記

年明け早々に私事で辛い出来事があったことから、馴染みのバーで「心休まるカクテル」と無理をお願いしてみたところ、こんなカクテルを作ってくれました。ベースのダークラムと写真の卵黄のリキュール、牛乳をシェイクします。グラスに注いだ後、大き目の氷の上に和三盆をふりかけてバーナーで軽く炙って完成。昔懐かしいミルクセーキの味わいと和三盆の甘い香りに心癒され、さらにラムのアルコールがジーンと沁みわたって心が落ち着きました。癒されたい方におすすめのカクテルですよ。

さて、今年の同期会には小生の同級生も集まります。久々に常盤に足を運ばれる方は、発展した母校の変貌ぶりに驚かれることでしょう。同級生の変貌ぶりも気になることですが、学び舎と同様、変わっていないところを探すのもちょっぴり楽しみですよ。(N記)



〒653-0838 神戸市長田区大谷町2-6-2
神戸常盤大学内

TEL/FAX (078) 642-0625
E-Mail : dousou@kobe-tokiwa.ac.jp

同窓会ホームページアドレス
<http://www.tokiwabito.com/>

神戸常盤大学ホームページアドレス
<http://www.kobe-tokiwa.ac.jp/univ/>

発行所／神戸常盤大学同窓会 責任者／本上 浩伸 2017.3.31(第32号)